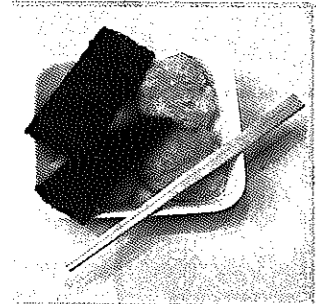




# 広報 しろね

1. 1&15  
2003 No.630

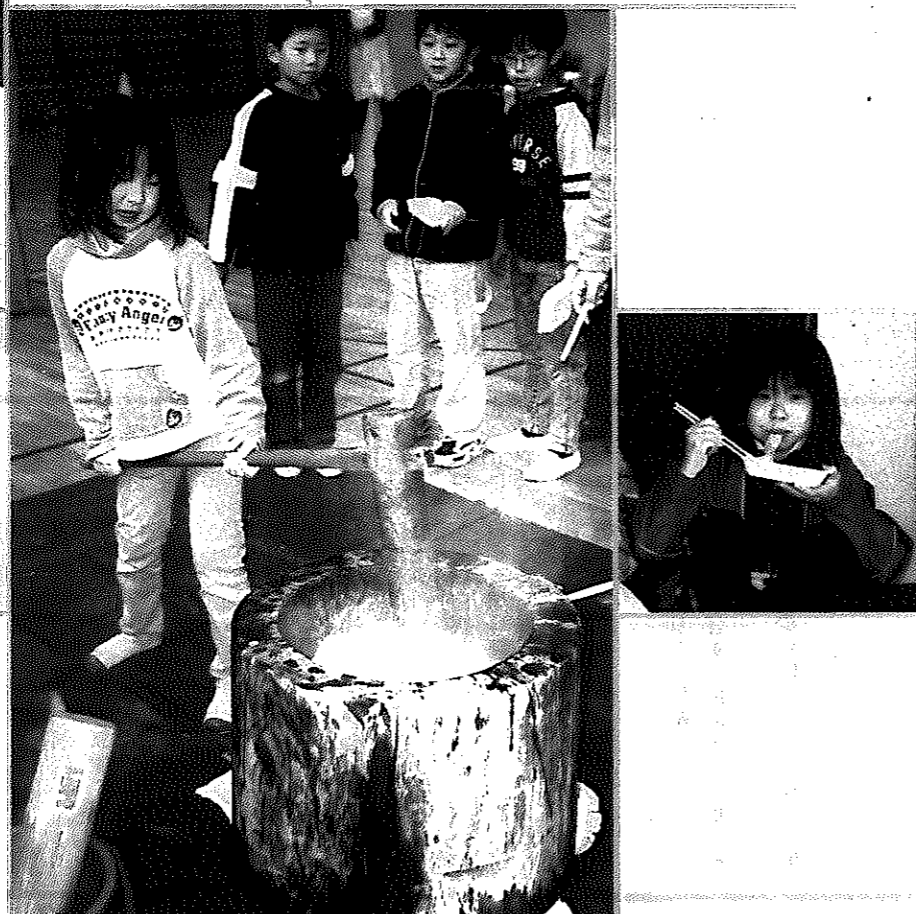
## 市長年頭のあいさつ& 平成14年を振り返って



### CONTENTS (もくじ)

- 年頭あいさつ&平成14年を振り返って... 2、3
- 申告前の豆知識... 4、5
- 市政クリップ、おしゃべりサロン... 6、7
- 市町村合併関連情報... 8
- まちの話題... 9
- お知らせ... 10 ~13
- みんなのページ... 14
- ズームアップ... 16

表紙 ちびっこもちつき大会 (大通地区)

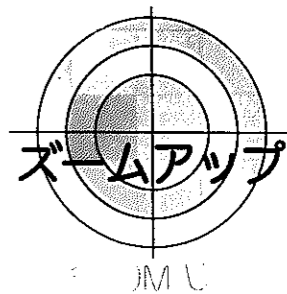


※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます。

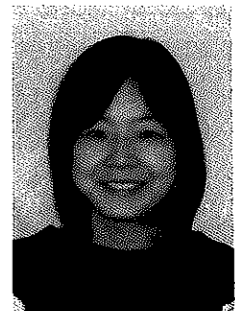


◀(左)現地の高校生との交流。日本と違い、タイの高校生の間では長めのスカートが流行中

▶(右)ホストファミリーと。タイでは日本のテレビゲームが人気で、子どもたちは日本語のままのゲームを楽しんでいるそうです



## 英語は世界への架け橋



小柳真美子さん

「英語が話せると、世界が広がる」。小柳真美子さん(二十一歳・大通南二)が英語の楽しさを知ったのは、公民館の英会話講座で初めて外国の人と話した中学一年生のときでした。以来、家族の後押しもあって、海外研修・留学・国際交流などを通して、積極的に外国に目を向けるようになりました。

小柳さんは昨年八月、タイでの「県青年リーダー養成海外研修」に父親の勧めで参加し、九日間の日程で、現地の学生との交流やホームステイなどを体験。また、同世代の若者の価値観を探るアンケートも実施しました。印象的だったことについて「どの学生も目的意識を持っていること。『両親が一生懸命働いたお金で学校に行ける』という意識が強いんです」と小柳さん。さらに「タイの人は『マイペンライ(気にしない)』というのが口癖なんです。わたしも大らかに生きようと思えました」と、笑顔で研修を振り返りました。

将来は、大好きな英語を生かし「在日外国人や留学したい学生のサポートなどをしてほしい」と小柳さん。「今まで周りの人の協力でいろいろ経験させてもらったので、今度は応援する側に」と少し照れながら話してくれました。

## Vol.3

## '09 国体 レスリングの 輪

### 日本レスリング、はじめて物語

ヨーロッパを中心に広まったレスリング。日本で普及し始めたのは、昭和に入ってからのことです。

昭和五年、早稲田大学柔道部がアメリカに遠征したときのこと。その部員たちは、初めてレスリング競技というものに接しました。そして、柔道対レスリングという試合を行ううちに、レスリングに対する関心が、部員たちの中で高まっていったのです。

早速彼らは帰国後、柔道部の一角にレスリング部を創設しました。それきっかけに、国内でも柔道の練習の一

### ▶数字で見る市勢 ※12月1日現在 ※( )内は前月比

人口	40,764人 (-25人)
男	19,925人 (-22人)
女	20,839人 (-3人)
世帯	11,420世帯 (+3世帯)
出生	23人 死亡 36人
11月中の転入	59人 転出 71人

環として、レスリングが取り入れられるように。そして大学対抗戦なども行われるようになっていきました。

日本が初めて世界に挑戦したのは、第十回ロサンゼルスオリンピックに参戦したときのこと。世界を相手に、柔道スタイルの日本チームは惨敗に終わってしまいました。その結果を反省した日本チームは、各国と交流を深めながら、基本を学ぶことにしたのです。その結果、日本のレスリングは徐々に発展していきました。

こうして、日本のレスリングは独立したスポーツとして確立していき、「世界の強豪国の一つ」と言われるまでになっていくたのです。

◎新年あけましておめでとうございます。今年も「広報しろね」をどうぞよろしくお願いいたします。◎かまくら、雪だるま、そり、雪合戦。新潟の冬は厳しいですが、意外と外で遊ぶ機会が増えます。子どもたちはテレビゲームより、雪遊びを楽しんでいます。◎おじさんと呼ばれる年になりましたが、雪遊びが大好きです。子どもたちと作った、かまくらの中で飲むビールは格別です。(ひ)

### 文・林 雄一 (白根高等学校教諭)